

まちづくり交付金 事後評価シート  
安城北西地区

平成18年12月

愛知県安城市

## 様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	安城市	地区名	安城北西地区
計画期間	平成16年度～平成18年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成18年度		
モニタリング実施時期	-	事後評価実施時期	平成18年4月～12月	フォローアップ実施時期	平成19年12月

1) 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	土地区画整理事業(安城作野)、公園事業(新安城周辺)、地域生活基盤施設事業(緑地・広場・駐車場)、土地区画整理事業(安城北部)、土地区画整理事業(安城新幹線駅周辺)
	当初計画から変更した事業(変更した内容)	地域創造支援事業(新設小学校関連事業):【事業費:0百円 628百円】
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	地域創造支援事業(新設小学校関連事業):既存小学校の大規模化を解消するため、学校用地を取得(目標・数値指標への影響はなし)

2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度			達成見込みの有無		効果発現要因
	指標1	指標2		モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	総合所見
	指標1	生活環境の改善	%						区画整理事業の着実な実施により、地区の生活環境が改善された。
	指標2	居住人口の増加	%						潜在的住宅需要の高い地域に事業が計画されたため、住宅需要の増加に伴い、高い人口定着につながった。
	指標3	緑地の確保	m <sup>2</sup> /人						地区内の一人当たり都市公園面積が増加し、生活環境の改善に大きく寄与した。

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		数値			効果発現要因
	その他の数値指標1	その他の数値指標2		基準年度	モニタリング	事後評価	フォローアップ	総合所見	
	その他の数値指標1								
	その他の数値指標2								
	その他の数値指標3								

4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	小学校の新設により、既存小学校の1校あたりクラス数が32クラスから25クラスへと減少し、既存小学校の大規模化が回避された。
-------------------------	---

5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
	モニタリング		予定どおり実施できた	予定していなかったが実施した	予定したが実施しなかった・できなかった	
	住民参加プロセス	公園整備計画をワークショップにより策定	予定どおり実施できた	予定していなかったが実施した	予定したが実施しなかった・できなかった	市民ニーズに合致した取組みにより、公園の利用率をさらに高めていく。
	持続的なまちづくり	公園愛護会の設立	予定どおり構築できた	予定していなかったが構築した	予定したが構築しなかった・できなかった	愛護会未結成の今東(北部6号)公園についても、愛護会の結成を働きかけている。愛護会による市民参加をより活発にしていけることにより、身近な緑を守ることの重要性を認識する。

## 様式2 - 2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

安城北西地区(愛知県安城市) まちづくり交付金の成果概要				
まちづくりの目標	緑のネットワークを形成した潤いと安らぎのあるまちづくり	まちづくり交付金の代表的成果	生活環境の改善 (単位:%)	75% (H16) 78% (H18)
			居住人口の増加 (単位:%)	100% (H16) 107% (H18)
			緑地の確保 (単位:m <sup>2</sup> /人)	4.9m <sup>2</sup> /人(H16) 5.1m <sup>2</sup> /人(H18)

### 作野3号(大丸山)公園 作野6号(段留)公園

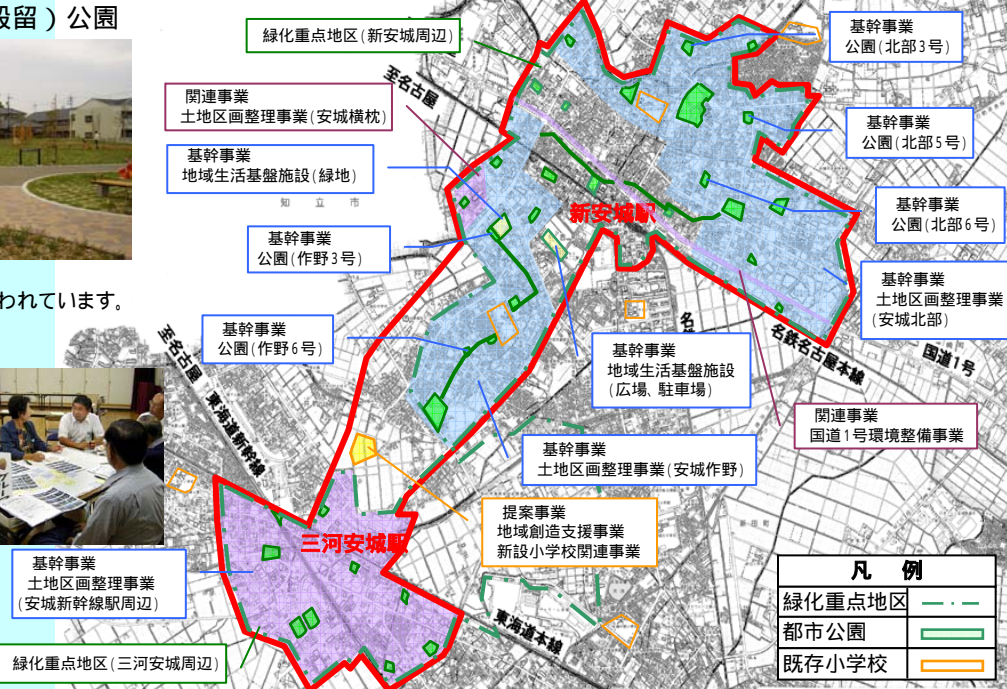


市民参加により計画された公園です。大丸山公園では、愛護会による清掃活動などが行われています。

### 公園づくりワークショップ



どんな公園が必要か、どんな使い方をしたいか…。公園づくりに、住民の皆様の意見を取り入れました。



### 北部5号(大道なかよし)公園



### 北部3号(里町)公園



市民参加により計画された公園です。愛護会により清掃活動が行われています。

### 梨の里小学校の新設



小学校のクラス数大規模化が回避され、良好な教育環境が形成されました。

### 公園・緑地の継続的な維持管理体制の構築

公園や緑地の良好な環境を維持するため、愛護会等の活動を支援する。また、計画策定段階での市民参加ワークショップを実施する。

### 地域コミュニティの活性化

土地区画整理事業により新たに基盤整備された地区について、自治会等の活動拠点整備を支援してコミュニティの活性化を促進する。また、新旧自治会の交流・連携を促すよう働きかける。

### 地区内通過交通の排除

土地区画整理事業によって道路が整備されたことから、地区内の通過交通が新たな課題となった。地区内の交通安全性を高めるため、地区周辺に道路を整備して通過交通を排除する。

### 新設小学校周辺の安全・安心の向上

児童が安全な環境のなかで快適に過ごすことができるよう、学校およびその周辺の環境整備が求められる。児童が安全に通学できるよう、学校周辺の道路に歩道橋を整備する他、校外からの不審者侵入を抑制するため、防護フェンスも設置する。さらに、各校にスクールヘルパーを配置して校内の見回りをを行い、校内外の安全性向上に努める。

今後のまちづくりの方策  
(改善策を含む)